

テーマ「地域コミュニティの活性化について」

第5回(H27.2.14) 尼崎らしいまちづくりのルールを考える市民懇話会が出た意見のまとめ

地域のつながりの必要性、意義・役割

<p>地域で孤独にならないため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中のママが孤立しないため ・新採社会人の1人暮らし ・一人暮らしの学生の世話 ・定年後の人とのつながり ・心の安定感、安心感 ・顔見知りになることで小さな変化をキャッチ ・セーフティネット <p>防犯のため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯のため <p>防災のため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災での関わり ・災害時の助け合い ・大規模災害時の救命 ・地域に昼いる人と夜いる人が一緒になって行う防災 <p>高齢者見守りのため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人暮らしの方の孤独死等を防ぐ <p>孤独死が深刻化しているため、見守り安心事業は必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居住人におかずのお裾分け <p>児童の見守りのため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の見守り 	<p>子どもの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが地域の人と関わりを持つ ・子どもにとって家族以外の頼れる人 ・子育て不安の解消 ・子育てについての意見が聞けたり、助け合える ・子どもの教育や幼児の子育て <p>お困りごとが起きたときのため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りから得る団結感を活用し、その企画等を通しての役割分担が緊急時に役立つ ・緊急時の人的ネットワーク ・困ったときの助け合い ・お金で解決が難しいことを助け合って解決する ・日常生活で困ったことが起こった時のため ・近所の困りごとを解決する ・イザというときのため <p>地域課題の解決のため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題を解決するために必要 ・地域独自の課題に対応する <p>つながることで力が増す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民がまとまることで力を発揮 ・悪質業者の訪問や勧誘のお困りなど ・1人では出来ないことがつながりあえば色々できる ・行政の力（協働）を引き出す ・地域のネットワーク 	<p>必要性があまり感じられない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入があって元気に暮らしている限り、地域コミュニティは不要 ・意義はあるけど必要性があまり見い出せない ・家の中（個人）は解決できるから普段、必要性を感じない ・あったらいいかなとは思いますが緊急の必要性は感じない ・役割が見えないため、必要性を感じない ・組織は必要ない <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己実現の場 ・モラル向上のため ・市政の伝達手段 ・ゴミの問題 ・住みやすくするために ・お金がない人へのサポート
---	--	---

緊急時にも助け合いができるような地域のつながりをつくるには、普段からどうすれば良いか？

個人としてどう関わるか	地域としてどうすれば良いか（町会、市民団体など）
<p>ご近所さんや地域のことを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段から周囲にどのような人がいるのかを知ることが大切 ・少しでも関わりを持っておくことで、そこから派生・発展していくことができる ・町内を歩いてまわって地域をよく知る <p>色々なことに興味を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何事も必要ないと思わずに色々なことに興味を持つ <p>助け合いの気持ちを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってもらったらやっつけてあげるといふ、助け合いの気持ちを持つ ・弱い人（老人、子ども）の立場になって考える <p>身近なところから関わりを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の方に会ったら話しかける ・知らない人にでも挨拶をしっかりとる ・同じマンションに住んでいる人に挨拶をするなど、小さなコミュニティから始める ・積極的に近所と関わり、近所付き合いを大切にするなど、小さな輪から始める ・まず近隣の狭いコミュニティにおける日常の対応から地道にコツコツと行っていく ・小さなところから関わり合う（近所のおばあちゃんにボタンづけをしてもらおうかわりに電球を替えるなど） ・地域の住人と趣味をきっかけとしてお付き合いを開始する <p>地域の人を頼る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人として困ったことがあった時に地域の人に助けを求める <p>地縁の活動に積極的に参加してみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とにかく色々な寄り合いやイベントに顔を出す ・色々な場、特に自分とは関係ないと思えるようなところにあえて出て行く ・何か1つ、イベントなどの場に参加することから始めてみる ・見守り安心事業や防災から関わってみる ・井戸端会議に参加する ・町会や社協組織に参加し、地域としてどうするか、ということを考える ・町内会、PTA、子ども会に参加し、その上で手伝うことは手伝う <p>自分にできることを考え、表明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のできることをする ・しんどいけど「おせっかい」を続けていく ・自分に必要なことや自分が何を出来るかをしっかり考え、何のコミュニティに関わるかを選ぶ ・自分の「やれること」や得意技を表明する <p>コミュニティや集まる場をつくっていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さなコミュニティをたくさんつくる ・まずは小さな仲間づくりから ・小さなグループづくりから始める ・話す機会をつくる <p>コーディネートの役を担う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の「場」にイベント、ボランティアの紹介（紙芝居など） <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係を築いていく ・不審者等を見かければ、積極的に警察に伝える ・ボランティア（？）で「おまつり隊」をつくって回る ・現状の町会では入りにくい 	<p>住民とのコミュニケーションを積極的にとり、巻き込んでいく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常において近隣とのコミュニケーションが大切 ・新住民への働きかけを強める ・多くの人を巻き込む機会をたくさんつくる必要がある ・町会の活動は役員だけがするのではなく、多くの人を巻き込んでいく <p>住民がつながりの必要性を感じられるよう工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性をどのように感じさせるかを考える <p>住民に自発性を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しいが義務にならないように自発性を促す ・小さく割って、自分1人あたりの責任（自発）を促す <p>行事等に参加しやすくなるよう工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハードルの低い行事をたくさん企画する ・取っ掛かりとして楽しく参加できることが大事 ・若い人を「自分ができるところだけでいいから」と引き込んでいるところは、新しく活動が広がる ・たくさんの方が町会に関われるようにする ・行事の対象者を絞り過ぎない <p>地域の人が集まるきっかけや場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事を大切に ・小さなきっかけをつくる。だんじり、お祭り、防災時の対策を話す集まりなど ・最低限の集まりの場（防災対策など）を強制的に設定して、地域に住む人の顔を知ることにつながりをつくり、そこから活動を発展させる ・話す機会をたくさんつくり、つながりをつくれるようにする ・誰もが参加することができるイベントなど、つながりの場をできるだけ多くつくる ・居場所づくりをする。いつ来ても、いつ帰っても良い居場所 ・住民の提案をできるだけ取り入れて場をつくる ・ご飯やお酒もOKの場をつくる。おしゃれに <p>効果的に情報を発信していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の良いところをアピールしていく。このコミュニティに属して良かったという事例集を作成し、新たなメンバーを呼び込む ・それぞれの活動を共有する ・地域ごとにSNSを使い、集まりがあることを知らせる ・SNSでネットワーク組織呼びかけ <p>地域課題を解決する中で関係性を築いていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のまとまりの始まりは、その地域の「問題」を解決する中で育まれてくる ・その問題は地域の特性（成り立ち）により多様 ・独居の見守り活動、防災等をきっかけに関わる人を増やす ・地域課題を解決するため地域の協働をつくり出す <p>地域でネットワーク型の関係を築いていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政、企業、学校等と連携しながら協働を進めていく ・老人会、婦人会、子ども会との信頼関係をつくる（無理も言える関係） ・関係ないと思う団体や会合にも接触する ・子育て中の方や1人暮らしをしている新卒の社会人をサポートするためにネットワーク型組織をつくる ・価値の多様性により階層組織ではなかなか地域コミュニティを動かすことが難しくなっているため、ネットワーク型、テーマ型で情報を提供し、参加者を募っていく ・非常時を意識した組織をつくる ・地域コミュニティしか果たせない役割は何かを見極め、そのために必要な体制、担い手、活動を考える ・お金が入ってきたとき、使える仕組みをつくる <p>地縁の活動を見直す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会が変わる ・社協を一旦、リセットする ・社協が思い切った殻を破る必要がある ・役割がもっと見えるようにする ・「実行委員会」を立ち上げ「社協の縛り」を外す ・働いている人も参加できる自治会にする ・社協は単に情報の伝える手段で良い <p>行事を行う場合は、「行事を通しての育て、つながりづくり」のみ</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強制的にしたら良いのでは ・市役所が大儀を与えてくれれば ・行政が面倒を見るのをやめる ・自治会があることで「助かる人」と「助ける人」の差を埋めるために楽しくつながる ・地域の特性、世代の特性、生活形態が違うため、それらを調整する人、会などが必要 ・リーダーの力量が重要 ・総合的なまちづくりでつながりをつくりだす ・防犯カメラをどこに設置したら良いかの会議なら出席する ・単位ごとに地域を歩く集まる 	<p>住民へのアプローチ</p> <p>組織運営</p>

比較のすべにできる

主体性がより必要